

事業名	大学国際戦略本部強化事業	
主管課及び関係課 (課長名)	(主管課) 科学技術・学術政策局国際交流官付(国際交流官: 平下文康)	
施策目標及び達成目標	<p>施策目標 5 - 6 科学技術活動の国際化の推進 達成目標 5 - 6 - (追加) 科学技術システムの中で中心的な役割を果たす大学において、特色ある組織的な国際展開に向けた取組みを推進し、広く社会に情報提供を行うなどにより、大学における国際展開の活性化を図る。</p>	
事業の概要	<p>本事業は、大学全体としての組織的な特色ある国際戦略構想のうち、特に優れた構想について、大学における「国際戦略本部」機能の強化、全学的な国際戦略の策定、国際戦略に基づく「国際戦略本部」の活動(外国人研究者等の研究教育環境・生活環境への組織的な支援、情報発信・収集力の強化、帰国後の外国人研究者等のネットワークの構築等)を支援する。本事業の実施により、全学的な国際戦略に基づいた、海外の大学、国際機関、内外の援助機関等との連携等を、国際戦略本部による支援を受けながら実施することも可能となり、大学の国際競争力の一層の強化につながる。なお、本事業は委託により実施予定。</p>	
予算額及び事業開始年度	<p>平成17年度概算要求額: 3,049百万円 事業開始年度: 平成17年度</p>	
得ようとする効果	<p>大学の特色ある国際戦略構想のうち、特に優れたものを選定し、「国際戦略本部」機能や国際戦略に基づく国際展開活動の成果を広く社会に情報提供することにより、各大学における自主自律的・組織的な国際展開に向けた取組みを一層促進する。 このように、国公私を通じた中で、優れた国際戦略構想を選定し、「国際戦略本部」機能に対して財政支援することにより、大学間の競争的環境を醸成し、大学の国際展開の活性化を促進する。ひいては、国内外の優秀な研究者を惹きつける研究環境の構築や国際競争力の強化を大学において実現する。</p>	<p>達成年度 平成21年度</p>
必要性	<p>「科学技術・学術の国際展開の戦略的推進について」(科学技術・学術審議会国際化推進委員会中間報告 平成16年8月)では、以下のように必要性が書かれている。</p> <p>大学は、第2期科学技術基本計画において、科学技術システムの中で中心的な役割を果たすことが求められている。そして、科学技術・学術の国際展開においては世界の研究教育機関との切磋琢磨や連携を通じて我が国の科学技術・学術水準を世界最先端のレベルに発展させることが期待されている。さらに、大学改革の進捗により、大学の研究教育を取り巻く環境が大きく変化し、特色ある個性輝く大学づくりが求められているなか、国際的な視点からは、各大学の自主自律的・組織的な国際展開に向けた取組が求められている。しかし、これまでは、国際化の取組を進めている大学が一部にあるものの、多くは研究者個人の活動に依存し、全学的な取組みが不足しているとの指摘があったところである。このような状況の中、国際展開を戦略的に進める大学の取組を支援することが必要である。</p> <p>科学技術・学術審議会国際化推進委員会は、平成16年7月15日、29日に、平成17年度概算要求における重点施策等として「科学技術・学術の国際展開の戦略的推進 ~ 科学技術国際戦略総合プラン ~」の事前評価を外部専門家・有識者により実施し、8月6日に確定。なお、本事業評価はホームページ(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu9/index.htm)に掲載予定。本事業評価において、大学国際戦略本部強化事業は、「特に、大学の組織的な特色ある国際展開戦略を策定し、実施する取組みのうち、優れたものについて、他大学の創意工夫ある自主的な検討を促す参考例とすべく支援することは極めて重要。」とされている。</p> <p>平成15年度の実績評価(施策目標5-6 科学技術活動の国際化の推進)では、基本目標は「概ね順調に進捗」しているが、今後の課題として、以下のことが挙げられている。</p> <p>大学全体として組織的な新しい国際展開推進システムの構築を目指す計画について定める国際展開戦略を策定し、実施する取組みのうち、優れたものについて、他大学の創意工夫ある自主的な検討を促す参考例とすべく支援する取組みを平成17年度より実施する。これにより、大学における国際展開の取組みが大学全体として</p>	

	<p>組織的に実施され、総合的に強化される。</p> <p>平成17年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針（総合科学技術会議平成16年5月26日）において、「大学改革の推進」に関し、「研究教育の特色ある取組の推進等国立大学における改革の推進。優れた研究教育機能を確立できるような資源を配分。」としている。</p> <p>科学技術基本計画（平成13年度～17年度）に基づく科学技術政策の進捗状況（平成16年5月26日 総合科学技術会議）において、以下の取組の必要とされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人等の研究機関における研究者に占める外国人研究者の割合は3.5%であることを踏まえた各機関における積極的な取組。 ・住環境を含めた生活環境の整備等の積極的な取組。 ・優秀な外国人研究者を積極的に受入れる人事登用システムの構築。 ・研究機関の組織運営、特にサポート部門の英語化。 <p>「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」（平成16年6月4日閣議決定）において、「法人化等を契機とした各大学の時代のニーズに応えた多様な組織見直しや新たな改革の取組を促進すべく、政策目標の明確化、事後評価の確立、競争原理を機能させた支援等、高等教育・研究の活性化を図る。」としている。</p>
効率性	<p>大学の国際戦略構想のうち特色ある優れたものを選定し、国公私を通じた財政支援を行うことで、競争的な環境の整備や資源配分の効率化が図れる。さらに、選定した取組は、他大学の創意工夫ある自主的な検討を促す参考例となるため、大学全体の国際展開の活性化を促進することができる。</p>
有効性	<p>効果の把握の仕方（検証の手順）</p> <p>本事業に対する応募と選定の状況、及び選定された取組の実績報告（「国際戦略本部」機能や国際戦略に基づく国際展開活動の成果）等により効果を把握する。また、これらを広く社会に情報提供することにより受ける社会的な評価も検討する。事後の外部評価の実施について検討。</p>
	<p>得ようとする効果の達成見込みの判断根拠（判断基準）</p> <p>本事業に対する応募と選定の状況と選定された取組の実績報告等により判断は可能。本事業は、競争的な環境の中で優れた取組に支援する方式により実施している「世界的研究教育拠点形成のための重点的支援 - 21世紀 COE プログラム - 」「特色ある優れた大学教育の一層の展開（GP）」と同じ方式により実施するものであり、国内外の優秀な研究者を惹きつける研究環境の構築や国際競争力の強化を大学において実現できると判断。</p>
公平性、優先性	<p>本事業は、国立・公立・私立の設置形態の別にかかわらず、大学を公平に支援することができるとともに、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004（平成16年6月4日閣議決定）」に記載されている「国公立を通じた競争原理に基づく支援へのシフトを促進する」にも合致しており、優先すべき政策である。</p>
備考	<p>当事業に関係する審議会からの提言等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術・学術の国際的展開の戦略的推進について（科学技術・学術審議会国際化推進委員会中間報告 H16.8） ・平成17年度概算要求における重点施策等の事前評価「科学技術・学術の国際展開の戦略的推進 ～ 科学技術国際戦略総合プラン ～」（科学技術・学術審議会国際化推進委員会 H16.8） ・経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004（H16.6.4 閣議決定） ・平成17年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針（H16.5.26 総合科学技術会議） ・科学技術基本計画（平成13年度～17年度）に基づく科学技術政策の進捗状況（H16.5.26 総合科学技術会議） ・国境を越えて教育を提供する大学の質保証について（H16.3.29 調査協力者会議審議のまとめ） ・新たな留学生政策の展開について（H15.12.16 中央教育審議会答申） ・国際競争力向上のための研究人材の養成・確保を目指して（科学技術・学術審議会人材委員会第二次提言 H15.6） ・グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について（H12.11.22 大学審議会答申） ・21世紀の大学像と今後の改革方策について（H10.10.26 大学審議会答申）

大学国際戦略本部強化事業

～ 大学全体としての明確な指針に基づく、組織的な特色ある国際展開の推進 ～

目標

「知」の世界大競争へ対応し、国内外の優秀な研究者を惹きつける国際競争力のある研究環境の実現

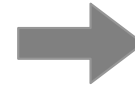
我が国の大学における国際展開の課題

- ・国際展開の多くは研究者個人の活動に依存
- ・外国人研究者の受入れ諸業務を受入研究者が過度に負担
- ・組織的・戦略的取組みに至らない国際展開活動
- ・大学における外国人教員の割合 3.5%

科学技術・学術審議会国際化推進委員会で中間報告をとりまとめ
「科学技術・学術の国際展開の戦略的推進について」平成16年8月

学長の下での「国際戦略本部」機能の強化による全学的な国際展開の推進

全学的な国際戦略構想を公募し、特に優れた特色ある構想について、
学長の下での「国際戦略本部」機能の強化を支援



- ・「国際戦略本部」の優れたモデルを構築
- ・各大学に国際展開のインセンティブを付与

学長の下での「国際戦略本部」機能の強化例

「国際戦略本部」スタッフの強化

- ・戦略プランナーの雇用
- ・戦略アドバイザーシステムの構築
- ・国際担当職員のマネジメント能力向上研修
- ・国際展開マネージャーの雇用 等

国際戦略の策定

- ・情報収集・調査・分析に基づき策定
- ・地域その他機関等との連携方策も含めて策定

「国際戦略本部」活動の推進

- ・情報収集・発信、新たな共同研究等の可能性調査
- ・優秀な外国人研究者等の戦略的リクルーティング
- ・帰国後の外国人研究者等とのネットワーク構築
- ・外国人研究者、留学生に対する研究・生活相談のワンストップサービスの実現、事務文書の英文化
- ・民間宿舍の活用 等

後方支援

研究者、教員、学生による特色ある国際展開活動の推進
(共同研究、共同教育活動等)

連携

地域その他機関：他大学、自治体、企業、NPO
他機関の海外事務所：他大学、独法(JSPS、JST等)